

潟上市 認知症総合支援事業について

潟上市 地域包括支援センター

1

<市町村の概況>

1) 高齢化の現状と見通し

潟上市の総人口

(平成29年10月31日現在)

男 15,810人

女 17,411人

計 33,221人 (13,688世帯)

高齢者人口

(平成29年3月31日現在)

65歳以上人口：10,589人

(うち、75歳以上：5,240人)

高齢化率：31.8%

◎国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、徐々に総人口は減少していくが、平成37年にかけて高齢者の人口は増加見込みである。それに伴い、要介護認定者数も増加することを想定している。

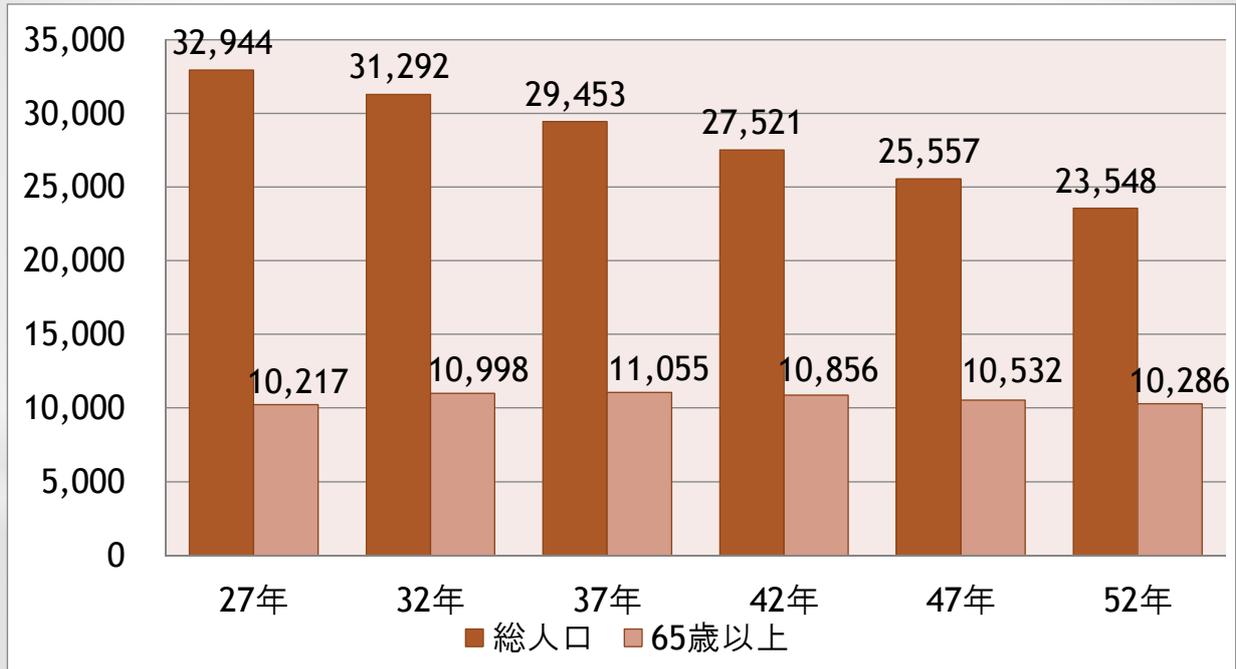
2) 管内の特徴

- ・人口や店舗・病院等が1つの旧町に偏っている傾向にある。
- ・車がないと移動が困難であり、冬期は積雪もある。

2

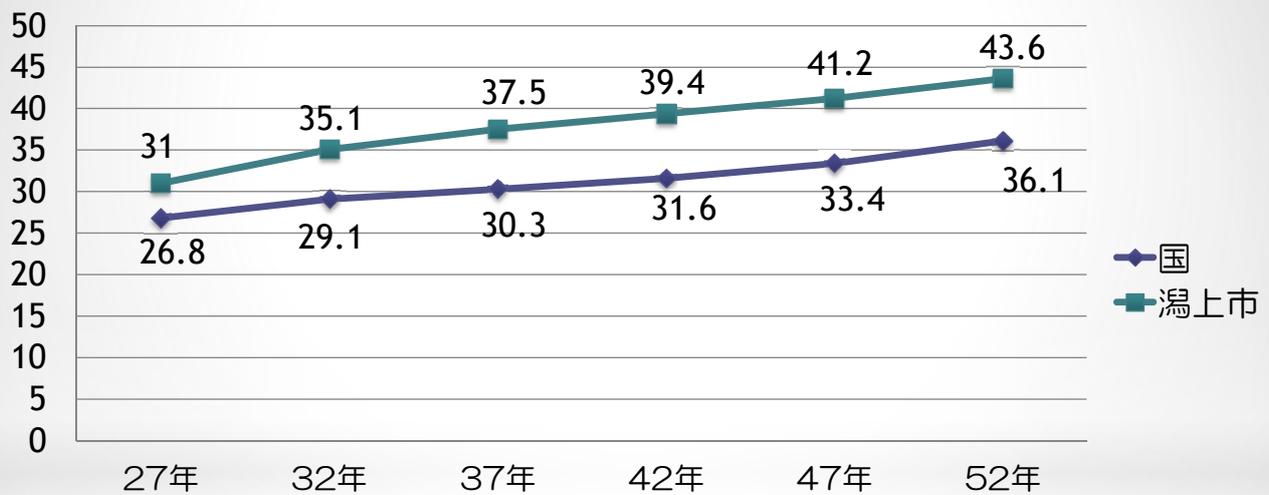
潟上市人口推計

※国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』



3

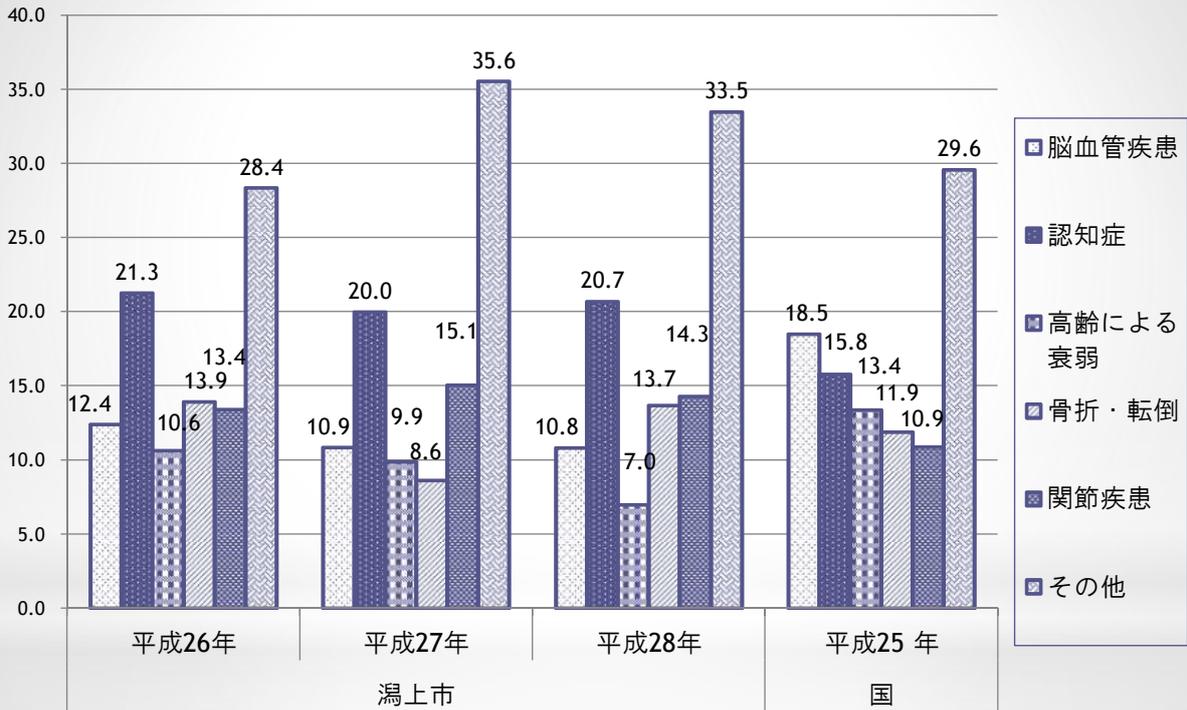
高齢化率と国の比較



※国
国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来人口推計（平成24年1月推計）』
※潟上市
国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』より算出

4

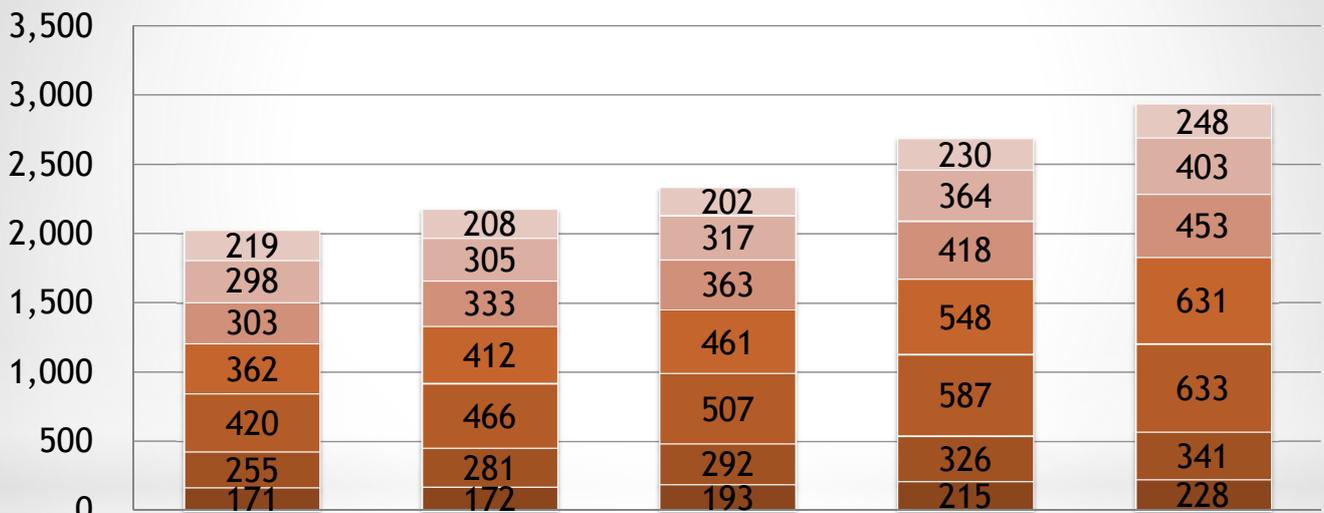
65歳以上の要介護の要因（潟上市新規介護申請より）



要介護の要因

- ・国の1位は、『脳血管疾患』だが、潟上市の1位は『認知症』である。
- ・国の統計より潟上市は、『骨折・転倒』『関節疾患』が高い。

要支援・要介護認定者数の内訳の推計



■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

<市町村の概況>



1) 日常生活圏域数

1 圏域（旧町：天王・昭和・飯田川）

2) 包括設置状況

直営 1 か所（湯上市役所本庁内 1 階）

3) 包括職員数

計 6 名	— センター長・主任介護支援専門員	1 名
	— 保健師	1 名
	— 社会福祉士	1 名
	— 事務	1 名
	— 介護支援専門員（非常勤）	2 名

認知症初期集中支援推進事業

<認知症初期集中支援推進事業>

1) 認知症初期集中支援チームの設置

①設置状況

- ・ **設置時期** 平成29年4月（平成28年10月から試行的に開始。）
- ・ **設置場所** 潟上市 地域包括支援センター
- ・ **チーム数** 1チーム
- ・ **チーム員** 計7名
 - －サポート医 3名
 - －保健師 2名
 - －社会福祉士 1名
 - －介護福祉士 1名

<認知症初期集中支援推進事業>

1) 認知症初期集中支援チームの設置

②取組の状況

- ・ **訪問支援対象者把握の主なきっかけ**
 - －包括へ寄せられた相談をとおして
- ・ **訪問実人数** 4名
- ・ **訪問延べ件数** 5件
- ・ **専門医を含めたチーム員会議の開催** 1回
- ・ **チーム検討委員会の開催** 0回

<認知症初期集中支援推進事業>

1) 認知症初期集中支援チームの設置

③認知症疾患医療センターとの連携状況

今現在まで、認知症疾患医療センターとの連携はなし。

※

隔月開催の「認知症サポート医によるもの忘れ相談会」にて、担当医が受診必要と判断した場合、認知症疾患医療センターへ紹介することがある。

今後、初期集中支援チームでも、このような連携が可能だと思われる。

<認知症初期集中支援推進事業>

2) 今後の展望

当包括支援センターに寄せられる相談のうち、総合相談で解決してしまうケースがほとんどである。そのため、初期集中支援チームとしての活動につながらない側面がある。

しかし、平成29年4月から、チーム員医師が囑託になったことにより、チーム員会議などに積極的な医師の介入が見込まれる。

<認知症初期集中支援推進事業>

3) 業務を遂行するうえでのポイント

◎認知症サポート医

潟上市には3つの医療機関に4名の認知症サポート医がおり、各医療機関がおおむね旧町ごとに分布しているため、各旧町に1人の配置で、計3名の医師に嘱託医を依頼している。

氏名	医療機関名
こばやし あきら	医療法人正和会
小林 顕	介護老人保健施設ほのぼの苑
ふじわら よしまさ	特定医療法人敬徳会
藤原 慶正	藤原記念病院
はたけやま ひろし	特定医療法人仁政会
畠山 浩	杉山病院

◎初期集中支援チームの相談

受け付けた相談の洗い出しをおこない、初期集中支援チームでの介入の必要性を見極めることを要する。

認知症地域支援・ケア向上事業

<認知症地域支援・ケア向上事業>

1) 認知症地域支援推進員の設置

①設置状況

- ・ **設置時期** 平成26年10月
- ・ **設置場所** 潟上市 地域包括支援センター
- ・ **人数** 1名
- ・ **職種** 社会福祉士

・ 嘱託医の配置

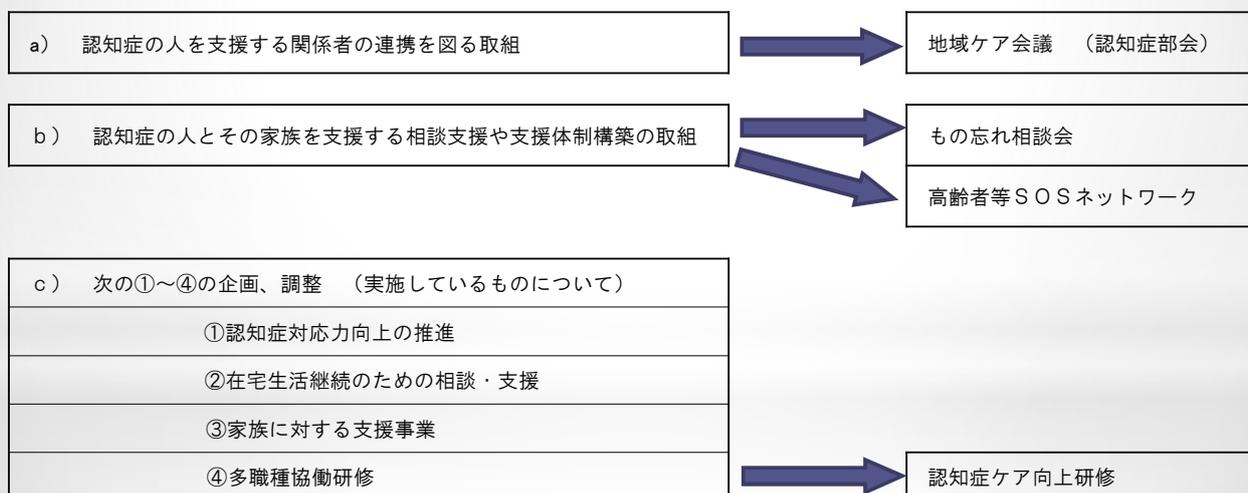
3医療機関に各1名ずつ計3名配置。

(スライド番号10参照)

<認知症地域支援・ケア向上事業>

1) 認知症地域支援推進員の設置

②取組の状況



<認知症地域支援・ケア向上事業>

2) 今後の展望

◎高齢者等SOSネットワーク事業

平成30年4月より、高齢者等SOSネットワーク事業を実施予定。警察を含む関係各所と連携の強化が期待できる。

また、民間の事業協力機関に対し、認知症サポーター養成講座を開くことで、認知症サポーターの増加や普及・啓発も見込まれる。

◎地域との顔つなぎ

潟上市は、地域ケア会議（ケアマネ部会、認知症部会）や、多職種協働研修にて専門職同士が顔を合わせる機会が多い。今後は、対一般市民と意見交換等できる場に積極的に顔を出していきたい。

17

<認知症地域支援・ケア向上事業>

3) 業務を遂行するうえでのポイント

◎認知症予防

今後、高齢者人口の増加に伴い、認知症の人も増えることが予想される。潟上市では、要介護認定の主原因が『認知症』であることをかんがみ、「脳トレ講座」を実施する等の認知症予防にも取り組んでいる。

◎多職種協働研修

市で実施する多職種協働研修などを通して、知識や技術の向上だけでなく、各関係機関の職員どうしが顔の見える関係になるよう研修内容に配慮する。



18

<認知症地域支援・ケア向上事業>

4) その他の取組

①認知症サポーター養成研修

- ・実施状況 延べ87回（平成21年度～）
- ・修了者数 延べ3,853人
- ・潟上市内の3中学校の2年生を対象に毎年開催。（平成23年度～）
- ・要請があった事業所等への開催もあり。

平成29年度

- ・実施状況（11月末現在）
 - －潟上市商工会青年部（10月6日）
 - －天王南中学校2年生（11月30日）
- ・修了者数（11月末現在）－123人



<認知症地域支援・ケア向上事業>

4) その他の取組

②認知症カフェの設置状況：2か所

- I **グループホーム昭和「カフェ・ミルクィー」**
 - －第3日曜日 午後
- II **グループホームまめだすか**
 - －不定期開催

※どちらも推進員の関わりはなく、事業所独自のものである。

※来年度より、潟上市で認知症カフェを開催予定。（年2回）
嘱託医の参加も検討している。

<認知症地域支援・ケア向上事業>

4) その他の取組

③認知症ケアパス：策定済み

- ・ **概要版**—平成27年9月に全戸配布。
- ・ **詳細版**—平成29年4月から順次配布。
(居宅介護支援事業所、
医療機関、公共施設)
もの忘れ相談会の相談者等へ
配布することもある。



<認知症地域支援・ケア向上事業>

4) その他の取組

④その他（ある場合）

◎高齢者等SOSネットワーク事業

平成30年4月より実施予定。

現段階では、協力機関に対し、ステッカーの配布をおこない、事業の普及啓発も図ることを想定している。

また、はいかい高齢者の保護に関しては、警察より書面にて情報提供がなされるので、SOSネットワーク事業と合わせて、対象者に再発防止支援をおこなっていく。

ありがとうございました。